



特別展



鎌倉に宿る、悠久の美

古 神 宝

国宝
鶴岡八幡宮

SACRED
TREASURES

2025

9.6^土 ▶ 10.13^月

開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)
休館日 9月15日、10月13日を除く月曜日、9月16日(火)
観覧料 一般 700円(600円)
小・中学生 300円(200円)
()内は20名以上団体料金

お問い合わせ先

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-1[鶴岡八幡宮境内]
TEL: 0467-22-0753 FAX: 0467-23-5953
Eメール: kokuhoukan@city.kamakura.kanagawa.jp

※駐車場がありませんので、車でご来館の際は、鶴岡八幡宮近隣の民間の駐車場をご利用ください。

※本料金で彫刻展示「鎌倉の仏像」もご覧いただけます。

※障がい者手帳の交付を受けた方と付き添い1名、鎌倉市に通学している小学生～大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。



鎌倉国宝館

Kamakura Kokuhoukan Museum

特別展

国宝
鶴岡八幡宮

SACRED
TREASURES

古神宝

鎌倉に宿る、
悠久の美

2025

9.6^土

10.13^月

鶴岡八幡宮は、康平6年（1063）に源頼義が石清水八幡宮を勧請した由比若宮を、源頼朝が治承4年（1180）に現在の場所に遷座したもので、鎌倉幕府の宗祀の首座に置かれ、源氏の氏神・武門の守護神として篤く崇敬されました。源氏三代の後も歴代の為政者の尊崇を集めながら、その庇護のもとに社勢を維持し続け、現在も宇佐・石清水とともに全国の八幡宮を代表する大社として広く知られます。

毎年9月15日に举行される例大祭は、同宮のもっとも重要な祭礼として位置付けられています。その起源は古く、『吾妻鏡』によれば、文治3年（1187）に放生会と流鏑馬が行われたことに始まります。年に一度の本展では、この例大祭の時期に合わせて国宝・古神宝類を公開するとともに、明治初年の神仏分離を経てもなお繁栄を続ける同社ゆかりの宝物を一堂に展示します。この機会に鶴岡八幡宮が誇る歴史と美の世界をご堪能ください。

学芸員による展示解説

期間中の毎週水曜日10時30分～（参加無料〔要観覧料〕、申込不要）



国宝
籬菊螺鈿蒔絵硯箱(鶴岡八幡宮)



国宝
籬菊螺鈿蒔絵硯箱内容品(鶴岡八幡宮)



国宝 沃懸地杏葉螺鈿太刀拵(鶴岡八幡宮)



重要文化財
舞楽面 貴徳鯉口(鶴岡八幡宮)



重要文化財
舞楽面 貴徳番子(鶴岡八幡宮)



重要文化財
弁才天坐像
(鶴岡八幡宮)



重要文化財 薬師如来坐像(寿福寺)

国宝
朱漆弓(鶴岡八幡宮)



重要文化財 蓮唐草蒔絵箱型礼盤(青蓮寺)